

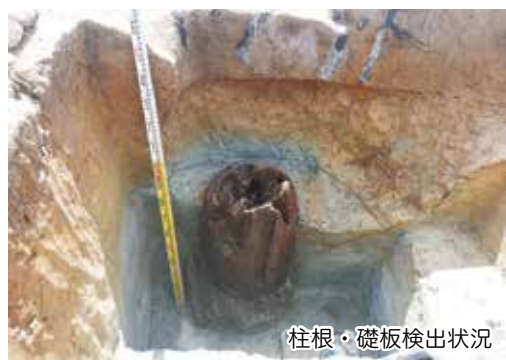
## 弥生時代終末～古墳時代初頭 の大型建造物みつかる!!



大型建造物（北西から）



大型建造物柱穴配置



柱根・礎板検出状況

七尾市矢田遺跡の令和5年度調査で、弥生時代終末～古墳時代初頭と推定される、柱間約9m、4本柱の大型建造物が見つかりました。4つの大型柱穴は平面長方形を呈し、外側の短辺から内側の短辺へ向かって階段状に掘り下げられています。いずれもその最下段が正方形に掘り窪められ、直径約50cmの柱が据えられていました。これら4柱穴すべてが、柱を据えた部分を建造物の内寄りに、階段状の部分とその外側へ向け、放射状に配置されています。大型柱穴の間に上屋を支える柱穴がないことから、これが建物になるのか、柱だけの建造物だったのか、現在のところ不明です。

同柱穴の形状については、北東約1kmに所在する国指定史跡万行遺跡まんぎょうの大型建物柱穴との類似性が指摘されています。両遺跡の関係性はもちろん、万行遺跡では出土しなかった柱根の分析により、これまで判然としていなかった建物の年代が明らかになることにも期待が高まっています。



## R5 発掘調査

やたいせき ななおし  
矢田遺跡 [七尾市]

矢田遺跡は、七尾湾岸から約1kmの水田地帯に位置する、弥生時代～中世の遺跡です。外環状線街路整備工事に係り、令和3年度から調査を始めました。今年度は第3次調査として、前年度調査区西側の、遺跡推定範囲の南西隅にあたる区域を対象に調査を行いました。

調査区東側では表紙にある大型建造物1基を確認しましたが、周囲の遺構は古墳時代～古代の大小土坑が中心で、同建造物と同時期の遺構はみられませんでした。このことから、当該期の当地は同建造物のみが建つ、特別な場所であったことが推察されます。

その西側では、中州<sup>なかす</sup>を挟んで南北方向に併走し、調査区の中央で合流している、古墳時代中期の川跡と溝各1条を確認しました。溝からは遺物がまったく出土しませんでした。川跡からは土師器<sup>はしき</sup>や須恵器<sup>すえき</sup>といった土器をはじめとして、農具や容器、建築部材のほか、刀形<sup>かたな</sup>や鳥形<sup>とりがた</sup>などの祭祀具を含む多様な木製品が大量に出土しました。約40m東側に同時期の川跡（前年度調査）を確認していますが、今回と同様に木製祭祀具を含む大量の遺物が出土したほか、山側からの2筋の流れの合流点に位置していました。水辺での祭祀の場に、このような環境が選ばれている可能性もあり、検討する必要があります。

このほか、川底では弥生時代後期とみられるクリの貯蔵穴1基を、また川跡の西岸に当たる調査区西端では、平安時代の掘立柱建物（3間×5間以上）を確認しました。

3ケ年に及ぶ当遺跡の調査は、今回をもって現地調査は完了となりました。



川跡と中州（古墳時代・南東から）



川跡遺物出土作業（西から）



クリ貯蔵穴（弥生時代・南東から）



調査区遠景（南から）



掘立柱建物（平安時代・南東から）

## R5 発掘調査

 たくだうわのやまいせき  
 宅田上野山遺跡 [輪島市]

宅田上野山遺跡は、河原田川と鳳至川に挟まれた通称“上ノ山”と呼ばれる台地上に位置する旧石器時代から江戸時代の遺跡です。昨年度は中央の谷部両側に古代～近世の掘立柱建物などがみつき、谷部下層からは縄文後・晩期の土器・石器が大量に出土し、磨製石斧などの石器を製作していた集落とみられます。

今年度前半の調査区では、古代（7世紀末～9世紀前半頃）の掘立柱建物柱穴や塀とみられる柱穴列、土坑、井戸、溝などの遺構が数多くみつき、塀に囲まれた複数の大型掘立柱建物が整然と並んでいた様子が明らかとなりました。これら古代の掘立柱建物群は、付近に存在していたとされる鳳至郡衙（古代の役所）で郡司層を務めていた、郡領クラスの在地有力豪族の居宅である可能性があり、居宅の範囲は約半町（約55m）四方とみられます。調査地周辺は古代鳳至郡の中心となる地域の一つと考えられます。また、縄文土器や製作途中の石鏃・石斧などが出土しており、石器を製作していた縄文時代の集落跡も重複しています。



調査地の遠景（南から輪島港方向を望む）



調査区全景と建物配置案（南から）



掘立柱建物群の全景（南東から）



大型掘立柱建物の全景（南から）



塀跡柱穴列の全景（北から）



塀跡柱穴出土の須恵器杯

R5 古代体験

## 『人物はにわづくり』

夏休みの大人気講座である「人物はにわづくり」を、7月21日（金）～7月31日（月）の期間に開催しました。

この講座は、小松市の重要文化財矢田野エジリ古墳から出土した埴輪<sup>はにわ</sup>の製作技法を参考に、人物はにわを製作することで、古墳時代の文化の一端にふれることを目的としたものです。今年度は期間中に400名以上の方がはにわを製作しました。

講座に参加した体験者は、粘土ひもの積み上げや頭部の成型などに苦勞しながらも、図面や写真を参考に、帽子型や冠型など様々な埴輪を作成していました。

完成した作品は、8月10日と15日の2回に分けて復元古窯で焼き上げた後、8月19日（土）から返却を行いました。



製作の様子



完成した人物はにわ



焼きあがった作品

R5 古代体験

## 『石川まいぶん博士チャレンジ講座』

「石川まいぶん博士」は、埋蔵文化財に親しみ、より一層の理解を深めてもらうことを目的として、県内の文化財に関する施設において実施している事業です。

今回の講座は、この博士認定事業の一環として、9月23日（土・祝）に開催し、8名の博士候補者が縄文人の技にチャレンジしました。

講座では、最初に縄文時代の生活と道具を学び、貫頭衣を着用して黒曜石ナイフの試し切りや縄文弓矢、石斧による木の切断、火起こし、縄文鍋の試食など様々な体験にチャレンジしました。

参加者からは「石斧は思っていた以上に切れ味がよかった」、「狩りは難しかったけど、鍋がおいしくて驚いた」など新たな発見に驚く感想が聞かれました。



竪穴住居の見学



石斧による切断体験



火起こし体験

R5 情報発信

## 第25回いしかわの発掘展

## 『国司巡行と能登・加賀の遺跡—家持と為房—』

奈良時代に越中守に任命された大伴家持は、国司の職務として能登の諸郡を巡行し、美しい自然の情景や地域に根ざした人々の暮らしを『万葉集』に遺しています。また、平安時代に加賀守に任命された藤原為房は、自身の日記『為房卿記』に都から加賀国へ下向し、社寺を巡拝した様子を事細かに記しています。

展示では、二人の国司による能登・加賀の巡行を遺跡でたどり、発掘調査で出土した遺物を紹介することで、国司が見た奈良・平安時代におけるいしかわの風景をさがしました。

令和5年7月15日（土）～9月3日（日）まで開催し、8月14日（月）～25日（金）の平日には「まいぶん・バックヤード・ツアー」の一部として展示解説を行いました。

展示概要は、YouTubeの埋蔵文化財センター公式チャンネルでご覧いただけます。



「クルル鉤」体験コーナーの様子



見学風景

R5 情報発信

## 動画配信

石川県埋蔵文化財センター公式チャンネルを開設して一年が経ちました。令和5年10月現在で、展示や古代体験マニュアルなど16本の動画を配信しています。

中でも4月末に公開した「金沢市米泉遺跡から出土した土偶の裏側をお見せします」は、再生回数20万回を達成した人気のコンテンツです。

この土偶は37年前の出土品で、最近テレビや新聞などで取り上げられたわけでもないのですが、なぜか注目されました。気になる方は動画をチェックしてください！！

チャンネル登録  
お願いします！！

R5 古代体験

『第25回古代体験まつり』



令和5年10月8日(日)に第25回古代体験まつりを開催しました。雨が心配される空模様でしたが、太陽が時々顔をのぞかせる良い一日となり、約1000人の来場者で終日にぎわいました。

午前10時の開会を告げる銅鐸の音が鳴り響いた後、会場に設けられた21の体験コーナーでは、待ちかねた人達が思い思いの場所へ足を運び楽しんでいました。ステージイベントでは、田上本町たいこ倶楽部による和太鼓演奏や、子どもと大人

の2部門で実施した〇×クイズで盛り上がりを見せた他、広場周辺の「古代の樹木を観察しよう」のコーナーでは、石川県立自然史資料館中野先生とセンター職員による説明が来場者の興味を喚起していました。古代衣装試着などの新型コロナウイルス感染症以前の人気体験メニューも完全復活し、各コーナーでは満足な笑顔が一杯あふれていたのが印象的な一日となりました。



まいぶん〇×クイズ



樹木観察



ステージイベント「和太鼓演奏」

食べてみよう



古代米

穫ってみよう



アワ・ヒエ・キビ



里芋

体験



縄文鍋



フォトスポット

掃こみよう

古代の衣装



風景



まいぶんラリー



発掘

やっこみよう



脱穀



楽器



弓矢



まが玉



火起こし

作ってみよう



アクセサリー



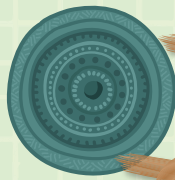
組み紐



鋳物



拓本



# まいぶん日誌

令和5年(2023)  
7月～10月



7月

コロナで中止していた  
体験工房「パズル」再開!



クイズラリーの景品準備中

ミニ講座「ミニ縄文土器づくり」

親子で共同製作です



夏休みの人気企画  
「人物はにわづくり」



講座「弥生土器づくり」の作品は  
覆い焼きで焼き上げます

中学生の職場体験



8月



金沢市大場遺跡で  
「親子の発掘体験教室」

暑かったけど頑張りました

いしかわの発掘展  
「国司巡行と能登・加賀の遺跡」



今年もたくさんのはにわたちが  
お迎えを待ちます。



「まいぶん博士チャレンジ講座」  
縄文人の技にチャレンジ

ミニ講座「藍の生葉染め」



すてきな模様ですね

9月

小学校の施設見学

縄文住居の前で  
はいポーズ



大物をねらうぞー!



作品は11月に  
穴窯で焼き上げました



講座「須恵器づくり」

「第25回古代体験まつり」

人気の「古代米」の試食

今年もおおにきわいでした



10月



「出前考古学教室」

縄文時代のくらしが  
ふれます